

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
情報エキスパート Computer expert		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
亀田和則	講義棟3F	月曜日	授業中に指示します	
授業の概要				
「コンピュータの構成」と「情報モラルと情報セキュリティ」および「ネットワーク」の基本的なことを学習し、パソコンの購入やインターネットの接続に必要な基礎知識を得る。また、日経BPの記事を利用し、最近の情報化社会の現状を学ぶ。				
授業の到達目標				
①コンピュータの5大要素とその役割、②トラブルの対処方法、③LANを使う利点、④ネットワーク利用上の注意点、⑤インターネットでできること、⑥インターネットへの接続方法、⑦Webページの作成法や構成要素、⑧Webのサーチエンジンの違い、⑨情報セキュリティ対策を説明することができるようにする。				
授業の方法				
基本的にはプロジェクトを使用した講義形式である。理解を深めるためにパソコンを用いた演習も取り入れる。				
学習の成果				
①「コンピュータの構成」と「情報モラルと情報セキュリティ」および「ネットワーク」の基本的なことを理解し、設定された複数の条件を考慮しながら、それらの条件に最も適合するコンピュータの機種を決定することができる。 ②日経BPの記事を読みその内容を理解し、第三者へ記事の概要を説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（学習成果、成績評価）、プレテスト			
第2回目	計算機とその歴史			
第3回目	コンピュータの5大要素とその役割（CPUの種類、記憶装置の種類）			
第4回目	コンピュータの5大要素とその役割（入力装置、出力装置）			
第5回目	実際に入力装置を触ってみよう（スキャナ、OCR）			
第6回目	実際に出力装置を触ってみよう（プリンタ、印刷用紙の種類）、古いプリンタを接続するときデバイスドライバやプリンタ管理ソフトウェアをインストールするには			

第7回目	最近のコンピュータ（ハードウェア、OS）	
第8回目	ノート型パソコンを購入する際の機種選定、課題：機種選定（提出は第10回目の授業） タブレット型コンピュータを購入する際の機種選定、課題：機種選定（提出は第10回目の授業）	
第9回目	これだけ知っていればOSは怖くない（OSの種類、フォルダ、セキュリティ対策、トラブルの対処方法）	
第10回目	ネットワークを使う利点、ネットワーク利用上の注意、ドメイン管理されている利点	
第11回目	インターネットでできること、インターネットへの接続方法、情報セキュリティ対策、パスワードの管理	
第12回目	ホームネットワーク	
第13回目	Windows8を触ってみよう	
第14回目	まとめと期末試験	
第15回目	解説	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度		評価の基準
レポート	20%	①ノート型を購入、②タブレット型を購入する際の機種選定に関してそれぞれ10%の配分となる。①と②で満点となる条件は、それぞれ「3つの機種で性能の比較表を作成し選定した判断条件の優先順位が明確」である。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	80%	期末試験の配点率は選択問題が50%、記述問題が30%とする。選択式問題の点数は50点×正解数/問題数である。記述問題で満点となる条件は「授業と自分の考えが明確に示され第三者が納得できる」である。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
プリントを配布する		
履修上の心得・ルール		
なし		